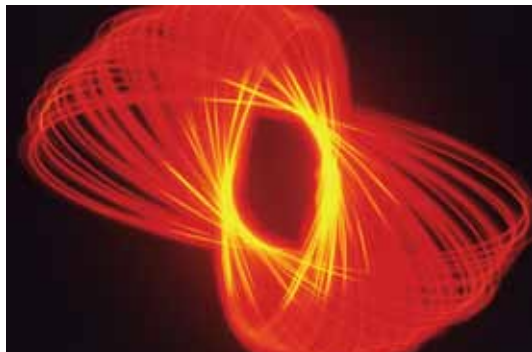


# 注目分野・注目技術 調査報告会

## これからのものづくりを考えてみませんか

新潟県工業技術総合研究所では、産学官によるものづくり技術の連携を活性化し、付加価値の高い「売れるものづくり体質」への転換を図るため「ものづくり技術連携活性化事業」を行っています。



本報告会では、「成形分野」と「新エネルギー関連分野」の注目分野、注目技術のニーズ/シーズ、技術動向・市場動向等の調査結果の報告や研究課題の提案を行います。

報告分野（順不同）

電力変換技術  
CFRP 成形技術  
塑性加工による軽量化技術  
エネルギーハーベスティング技術  
エネルギー関連分野における表面機能性付与技術



「あっ！これおもしろそうだな」「もう少し調べてみたいな」「ちょっとやってみよう」と思えるような情報をご提供します。是非、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また今回は、企業の方からも自社の取り組み事例等をご紹介いただくと共に、参加の皆様も含めたミニディスカッションも予定しています。



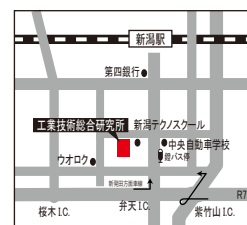
■開催日時：2013年 3月 6日（水）10:00～16:10

■会場：新潟県工業技術総合研究所（新潟市中央区鏡西 1-11-1）講堂

■参加費：無料

■主催：新潟県工業技術総合研究所

■問い合わせ：企画管理室 TEL025-247-1301 <http://www.iri.pref.niigata.jp>



# 報告会プログラム

10:00

開 会 挨拶

工業技術総合研究所

成形分野

10:05

聴講希望

## CFRP成形技術

■先端材料として注目されている炭素繊維複合材料（CFRP）の成形技術について、最近の技術動向や課題、県内における取り組みについて概説し、今後の方向性について報告します。またプレス機を用いた熱可塑性CFRPの成形技術に関する加工事例について紹介します。

○炭素繊維複合材料成形技術の現状と今後の展望

工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター 専門研究員 古畑 雅弘

○炭素繊維熱可塑性複合材料のプレス成形技術の開発

協立工業株式会社 専務取締役 森下 一 氏

○ミニディスカッション

11:00

聴講希望

## 塑性加工による軽量化技術

■複雑な形状を高精度・高効率に加工できる板鍛造が注目され、自動車関連に応用され始めています。板鍛造と、主な応用先である自動車産業の現状と展望に焦点を当て、実例を交えて紹介します。またプレス金型のリーディング企業である株式会社ツバメックスの賀井氏からプレス産業の現状と自社の取り組みについて講演していただきます。

○塑性加工による軽量化技術の調査研究報告と今後の展望

工業技術総合研究所 県央技術支援センター 専門研究員 宮口 孝司

○塑性加工ビジネスの現状と我社の取り組み

株式会社ツバメックス 取締役社長 賀井 治久 氏

○ミニディスカッション

12:00

昼 休 み

新エネルギー関連分野

13:00

聴講希望

## 電力変換技術

■最近注目を浴びている再生可能エネルギーによる電力を扱う場面では、電力変換技術（直流を交流に変えたり、電圧や電流を適切な範囲に抑えたりする技術）が使われています。今回は、電力変換技術の技術動向および県内企業の具体的な取り組みについて発表します。今後の取り組み、参入の際のヒントとしていただければ幸いです。

○電力変換分野の技術動向と県内シーズ技術の適用可能性

工業技術総合研究所 研究開発センター 専門研究員 五十嵐 晃

○電力変換技術を応用し、(株)東芝製Liイオン電池を利用したハイブリッドコントローラの開発

エフテック株式会社 代表取締役 渡邊 諭 氏

○今後開発が期待される新規パワーデバイス「GaN」を採用した電源の開発と評価

TDKラムダ株式会社 技術統括部 新エネルギー技術部 部長 渡辺 一史 氏

技術統括部 先行開発部 柳 洋成 氏

○ミニディスカッション

14:00

聴講希望

## エネルギー関連分野における表面機能性付与技術

■近年、需要が高まっている二次電池や燃料電池等電力貯蔵分野への表面技術による機能性付与技術について、当分野における技術動向や課題を踏まえ報告します。また県内における研究事例として、燃料電池用金属セパレーターの開発について、株式会社中津山熱処理の中津山氏とともに紹介します。

○二次電池・燃料電池分野の現状と表面技術シーズの適用可能性

工業技術総合研究所 研究開発センター 専門研究員 林 成実

○窒素含有ニッケルフリーステンレス製燃料電池用金属セパレーターの開発

株式会社中津山熱処理 代表取締役 中津山 國雄 氏

工業技術総合研究所 中越技術支援センター 専門研究員 三浦 一真

○ミニディスカッション

15:00

休 憩

15:10

聴講希望

## エネルギーハーベスティング（環境発電）技術

■エネルギーハーベスティング技術とは別名「環境発電」とも呼ばれ、周りの環境（光、熱、振動、電波など）から未利用エネルギーを収穫（ハーベスト）して電力に変換する技術です。発電量はマイクロワットからワットレベルですが、電池や配線の代替えとして国内外で様々な製品が開発され、今後の市場拡大が期待されています。

○エネルギーハーベスティング技術の現状と今後の展望

工業技術総合研究所 下越技術支援センター 専門研究員 星野 公明

○熱電発電による自走式ペレットストーブの開発

株式会社さいかい産業 代表取締役 山後 春信 氏

○ミニディスカッション

展 示 会 場：ポスターおよび関連サンプルの展示を行います。発表前後、休憩時間等を利用してご覧ください。

## 参加申込書

上記プログラムで聴講希望の内容に○を付けていただき、必要事項を記入の上 FAX 等でお申し込みください。

新潟県工業技術総合研究所 企画管理室行き

FAX 025-244-9171

会社・団体名	所在地	
TEL	FAX	
役職	氏名	E-mail
役職	氏名	E-mail

※ご記入いただいた情報は、新潟県からの連絡・情報提供のみに利用させていただきます。

お問い合わせ先 新潟県工業技術総合研究所 企画管理室 白川 TEL 025-247-1301 E-mail info@iri.pref.niigata.jp